



平成29年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成29年2月14日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社 東京精密

コード番号 7729 URL <http://www.accretech.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長CEO

(氏名) 吉田 均

問合せ先責任者 (役職名) 代表取締役CFO

(氏名) 川村 浩一

TEL 042-642-1701

四半期報告書提出予定日 平成29年2月14日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成29年3月期第3四半期の連結業績(平成28年4月1日～平成28年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年3月期第3四半期	56,697	8.2	9,744	△1.0	9,790	△2.1	6,035	△16.2
28年3月期第3四半期	52,392	7.1	9,843	11.0	9,997	5.7	7,204	9.3

(注) 包括利益 29年3月期第3四半期 5,747百万円 (△9.2%) 28年3月期第3四半期 6,330百万円 (△14.4%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
29年3月期第3四半期	145.80	144.92
28年3月期第3四半期	174.19	173.23

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
29年3月期第3四半期	109,219	82,467	74.8
28年3月期	101,933	79,418	77.3

(参考) 自己資本 29年3月期第3四半期 81,648百万円 28年3月期 78,773百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
28年3月期	—	26.00	—	33.00	59.00
29年3月期	—	34.00	—		
29年3月期(予想)				34.00	68.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成29年3月期の連結業績予想(平成28年4月1日～平成29年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	72,500	3.2	13,000	△1.7	12,800	△3.3	9,400	△3.1	227.08

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

29年3月期3Q	41,446,581 株	28年3月期	41,423,381 株
----------	--------------	--------	--------------

② 期末自己株式数

29年3月期3Q	35,664 株	28年3月期	35,393 株
----------	----------	--------	----------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

29年3月期3Q	41,397,471 株	28年3月期3Q	41,361,881 株
----------	--------------	----------	--------------

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

・この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく監査手続の対象外です。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に掲載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的と判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は、様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想のご利用にあたっては、添付資料「当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予想情報に関する説明	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
(4) 追加情報	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第 3 四半期連結累計期間における内外経済情勢は、米国、欧州では雇用回復と堅調な個人消費を背景に景気の緩やかな拡大が続き、日本も為替相場の円高基調はあったものの雇用環境改善を背景に個人消費に持ち直しの動きが見られ景気全般としては緩やかな回復傾向となりました。中国でも緩やかな景気持ち直しの動きが見られましたが、その他アジア新興国経済は斑模様で全般的には依然として停滞した推移を続けました。なお、英国の EU 離脱問題や昨年 11 月の米国大統領選の結果を受けた今後の政策運営への懸念等から、景気の先行きには不透明感が増してきております。

このような状況下、当第 3 四半期連結累計期間の連結業績は、受注高 592 億 97 百万円（前年同期比 12.6%増）、売上高 566 億 97 百万円（前年同期比 8.2%増）、営業利益 97 億 44 百万円（前年同期比 1.0%減）、経常利益 97 億 90 百万円（前年同期比 2.1%減）となり、親会社株主に帰属する四半期純利益は税務調査の過程を踏まえ、現時点で想定される負担額を見積もった結果、60 億 35 百万円（前年同期比 16.2%減）となりました。

当第 3 四半期連結累計期間のセグメント別概況は以下の通りです。

【半導体製造装置部門】

半導体製造装置部門では、スマートフォンの高機能化、大容量化や、中国メーカースマートフォンを牽引役とする販売台数拡大、データセンター関連投資の増加、産業機械や自動車搭載用パワー半導体の需要拡大などを背景として、半導体・電子部品メーカ各社は積極的な設備投資を行いました。こうした環境を背景に、当社装置の受注・売上も順調に推移しました。

当部門における当第 3 四半期連結累計期間の受注高は 393 億 3 百万円（前年同期比 26.9%増）、売上高は 374 億 45 百万円（前年同期比 18.2%増）、営業利益は 65 億 53 百万円（前年同期比 13.8%増）となりました。

【計測機器部門】

計測機器部門では、主要ユーザーである自動車関連業界は引き続きワールドワイドな生産体制構築、効率向上に向けた生産革新のための設備投資を積極的に進めましたが、年初来の円高による企業収益への影響を踏まえ更新投資については抑制的な対応をしました。また、中国、東南アジアにおける投資需要も一部で回復の動きが見られますが引き続き力強さを欠いています。国内中堅中小企業マーケットにおける政府助成金の設備投資促進の政策効果も縮小している中、航空機関連業界向けの需要動向は引き続き堅調を維持しています。こうした環境を背景に、当社装置の受注・売上は、前年同期比で減少しました。

当部門における当第 3 四半期連結累計期間の受注高は 199 億 93 百万円（前年同期比 7.7%減）、売上高は 192 億 52 百万円（前年同期比 7.0%減）、営業利益は 31 億 91 百万円（前年同期比 21.9%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

① 資産、負債及び純資産の状況

当第 3 四半期末における総資産は、前連結会計年度末に比べ 72 億 86 百万円増加し、1,092 億 19 百万円となりました。増減の主な要因は、建物及び構築物の増加 44 億 43 百万円、現金及び預金の増加 43 億 88 百万円、仕掛品の増加 9 億 92 百万円、建設仮勘定の減少 25 億 42 百万円等であります。

当第 3 四半期末における負債は、前連結会計年度末に比べ 42 億 36 百万円増加し、267 億 52 百万円となりました。増減の主な要因は、支払手形及び買掛金、電子記録債務の増加 47 億 76 百万円、未払法人税等の増加 11 億 48 百万円等であります。

当第3四半期末における純資産は、前連結会計年度末に比べ30億49百万円増加し、824億67百万円になりました。増減の主な要因は、利益剰余金の増加31億60百万円等であります。この結果、自己資本比率は74.8%になりました。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成29年3月期の連結業績予想につきましては、平成28年11月11日に公表いたしました業績予想に変更はありません。

（注）業績見通し等の将来に関する記述は、内外の経済状況、為替レートの変動、業績に影響を与えるその他の要因等現時点で入手可能な情報をもとに、当社グループが合理的であると判断した一定の前提に基づいており、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。これらは、市況、競争状況、新製品の導入及びその成否を含む多くの不確実な要因の影響を受けます。従って、実際の売上高及び利益は、記載されている予想数値とは大きく異なる場合がありますことをご承知おきください。

2. サマリー情報（注記事項）に関する情報

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動
該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用
該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
(会計方針の変更)

法人税法の改正に伴い、「平成28年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱い」（実務対応報告第32号 平成28年6月17日）を第1四半期連結会計期間に適用し、平成28年4月1日以後に取得した建物附属設備及び構築物に係る減価償却方法を定率法から定額法に変更しております。

この結果、当第3四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益がそれぞれ90百万円増加しております。

(4) 追加情報

(繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針の適用)

「繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針」（企業会計基準適用指針第26号 平成28年3月28日）を第1四半期連結会計期間から適用しております。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成28年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	27,389	31,777
受取手形及び売掛金	23,484	20,692
電子記録債権	2,522	4,974
商品及び製品	2,163	2,320
仕掛品	10,117	11,109
原材料及び貯蔵品	3,802	4,072
その他	3,309	2,691
貸倒引当金	△ 78	△ 151
流動資産合計	72,710	77,486
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	9,866	14,310
その他（純額）	12,138	9,710
有形固定資産合計	22,005	24,021
無形固定資産		
のれん	315	303
その他	568	570
無形固定資産合計	884	873
投資その他の資産		
その他	6,339	6,843
貸倒引当金	△ 5	△ 5
投資その他の資産合計	6,334	6,838
固定資産合計	29,223	31,733
資産合計	101,933	109,219

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成28年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	6,094	7,106
電子記録債務	5,724	9,489
短期借入金	1,200	1,300
未払法人税等	1,898	3,046
引当金	1,014	532
その他	5,484	4,539
流動負債合計	21,416	26,014
固定負債		
役員退職慰労引当金	133	146
退職給付に係る負債	646	544
その他	319	46
固定負債合計	1,099	737
負債合計	22,515	26,752
純資産の部		
株主資本		
資本金	10,374	10,402
資本剰余金	21,392	21,420
利益剰余金	45,630	48,791
自己株式	△ 115	△ 116
株主資本合計	77,282	80,498
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	759	1,102
為替換算調整勘定	650	△ 87
退職給付に係る調整累計額	80	133
その他の包括利益累計額合計	1,491	1,149
新株予約権	436	522
非支配株主持分	208	297
純資産合計	79,418	82,467
負債純資産合計	101,933	109,219

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年12月31日)
売上高	52,392	56,697
売上原価	31,439	35,064
売上総利益	20,953	21,632
販売費及び一般管理費	11,110	11,887
営業利益	9,843	9,744
営業外収益		
受取利息	28	16
受取配当金	94	89
その他	91	54
営業外収益合計	214	159
営業外費用		
支払利息	23	20
為替差損	21	81
その他	15	11
営業外費用合計	59	113
経常利益	9,997	9,790
特別利益		
投資有価証券交換益	—	56
子会社株式売却益	6	—
新株予約権戻入益	1	—
特別利益合計	8	56
特別損失		
関係会社出資金評価損	—	26
その他	0	6
特別損失合計	0	32
税金等調整前四半期純利益	10,006	9,813
法人税、住民税及び事業税	2,505	4,453
法人税等調整額	266	△ 698
法人税等合計	2,772	3,754
四半期純利益	7,233	6,058
非支配株主に帰属する四半期純利益	29	23
親会社株主に帰属する四半期純利益	7,204	6,035

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年12月31日)
四半期純利益	7,233	6,058
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△ 307	343
為替換算調整勘定	△ 454	△ 707
退職給付に係る調整額	△ 140	53
その他の包括利益合計	△ 902	△ 311
四半期包括利益	6,330	5,747
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	6,318	5,718
非支配株主に係る四半期包括利益	12	29

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

1. 前第3四半期連結累計期間(自平成27年4月1日 至平成27年12月31日)

① 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報 (単位:百万円)

	報告セグメント			合計
	半導体 製造装置	計測機器	計	
売上高				
外部顧客への売上高	31,689	20,703	52,392	52,392
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—
計	31,689	20,703	52,392	52,392
セグメント利益	5,757	4,085	9,843	9,843

(注)セグメント利益は四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

2. 当第3四半期連結累計期間(自平成28年4月1日 至平成28年12月31日)

① 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報 (単位:百万円)

	報告セグメント			合計
	半導体 製造装置	計測機器	計	
売上高				
外部顧客への売上高	37,445	19,252	56,697	56,697
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—
計	37,445	19,252	56,697	56,697
セグメント利益	6,553	3,191	9,744	9,744

(注)セグメント利益は四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

② 報告セグメントの変更等に関する事項

会計方針の変更に記載のとおり、法人税法の改正に伴い、平成28年4月1日以降に取得した建物附属設備及び構築物に係る減価償却方法を定率法から定額法に変更したため、事業セグメントの減価償却の方法を同様に變更しております。

当該変更により、従来の方法に比べて、当第3四半期連結累計期間のセグメント利益が「半導体製造装置」で87百万円、「計測機器」で3百万円それぞれ増加しております。